

IR

第56期第3四半期
営業のご報告

2019年4月1日～12月31日



■ 個人投資家向け会社説明会の実施

2019年11月29日(金)、広島県のリーガロイヤルホテルにて、大和インベスター・リレーションズ(以下、「大和IR」)主催の個人投資家向け会社説明会を開催しました(4社合同)。

当日は、代表取締役社長 足利 恵一と常務取締役 江角 知厚が、あじかんの理念や外部環境も含めた事業への取組状況などについてご説明しました。出席者は172名(7割は60歳以上)で、地元開催ということもあり、開催後のアンケートでは、説明が大変わかりやすく、事業内容をよく理解できたといった声が多くありました。一方で、将来性、安定性、サービス・製品内容、ビジネスモデル、事業領域への興味は他社水準より低く、特に、ビジネスモデル、事業領域は興味ありと回答された株主の方の割合が、他社平均ではそれぞれ31.6%、23.9%であったのに対して、当社は9%、8.6%と顕著に低い状況でした。質問の内容については、物流、人手不足などの問題、安定した利益率確保のための対策、今後の成長のための具体的な戦略などに関するご意見が多く出されました。当日の回答例の一部を以下にご紹介いたします。



Q. ヘルスフード事業の今後の展開について、どのようにお考えですか?

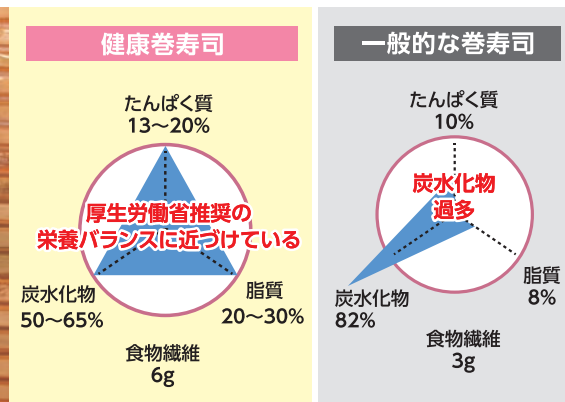
A. 便通改善の効果を持つ『機能性表示食品』として、ごぼう茶が受理された。健康志向の高まりに向けて、機能性表示食品のごぼう茶を中心に販売促進を行う。また、自社のカスタマーセンターを開設したことにより、これまで以上にお客さまに寄り添ったサービスを実現することが可能となった。これからも一人ひとりのお客さまを大事にし、ごぼう茶をご愛飲いただきたい。加えて体の健康のみならず、心の健康、地球の健康も考えていく。心の健康では、楽しい食卓を提供することが当社の使命であり、そのためには玉子焼など彩り豊かな食卓が重要である、食でみんなを笑顔にできるようにしていきたい。

当日の発表の様子が、5月末まで大和IRのホームページにて掲載されておりますので、ぜひご覧ください。あじかんといたしましては、他社メーカーとの差別化をさらに加速させながら、さらなる事業の発展に努めてまいります。

大和IRホームページ ▶ <https://www.daiwair.co.jp/detail.cgi?code=2907>



■ 健康巻寿司が発売されました



現在、あじかんでは、巻寿司の可能性を広げるために、『健康』をキーワードとした新しい巻寿司『健康巻寿司』の販売促進活動を実施しています。

『健康巻寿司』は、岡山県の川崎医療福祉大学との共同研究により誕生した巻寿司で、使用のご飯の量を減らしたり、具材の砂糖の量を調整したりすることで、炭水化物の割合を日本人の食事摂取基準の目標値まで下げ(82%→50~65%)、逆に、不足している、たんぱく質や脂質などの量を増やすことで、一食当たりで摂取できるPFCバランス(P:protein /たんぱく質、F:fat /脂質、C:carbohydrate /炭水化物)を整えています。

『健康巻寿司』は、これまでに、中部地方で試験販売や、数店舗規模での販売を実施していただいておりますが、この度、岡山を中心に展開されているスーパーマーケットでの全店販売が決まりました。

また、『健康巻寿司』に関する取材内容が山陽新聞の紙面や、テレビせとうちのニュース番組で報道されるなど、メディアにも取り上げられ、岡山県内の多くのお客さまにアピールすることができました。今後も『健康巻寿司』が広がり、みなさまの健康に寄与できるよう取り組んでまいります。

■第3四半期 連結貸借対照表

科目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間	科目	前連結 会計年度	当第3四半期 連結会計期間
	2019年3月31日現在	2019年12月31日現在		2019年3月31日現在	2019年12月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	11,945	※1 14,115	流動負債	10,475	※3 12,747
現金及び預金	1,454	1,823	支払手形及び買掛金	2,795	4,110
受取手形及び売掛金	6,298	7,536	短期借入金	5,048	6,497
商品及び製品	2,605	2,831	リース債務	46	60
仕掛品	31	43	未払法人税等	268	11
原材料及び貯蔵品	1,204	1,398	賞与引当金	297	217
その他	363	502	役員賞与引当金	46	33
貸倒引当金	△ 12	△ 20	その他	1,972	1,816
固定資産	12,947	※2 13,189	固定負債	2,001	※4 2,020
有形固定資産	11,045	11,152	長期借入金	1,707	1,654
建物及び構築物(純額)	4,025	4,113	長期未払金	125	180
機械装置及び運搬具(純額)	2,643	2,626	リース債務	75	104
土地	3,549	3,681	退職給付に係る負債	36	—
リース資産(純額)	98	138	資産除去債務	53	53
その他(純額)	727	593	繰延税金負債	—	25
無形固定資産	134	331	その他	1	1
ソフトウェア	99	250	負債合計	12,476	14,767
リース資産	7	7	(純資産の部)		
のれん	—	69	株主資本	12,006	12,257
その他	27	3	資本金	1,102	1,102
投資その他の資産	1,768	1,705	資本剰余金	1,098	1,098
投資有価証券	894	817	利益剰余金	9,870	10,120
長期前払費用	0	0	自己株式	△ 64	△ 64
繰延税金資産	98	62	その他の包括利益累計額	409	279
退職給付に係る資産	—	4	その他有価証券評価差額金	258	208
その他	833	880	繰延ヘッジ損益	△ 1	5
貸倒引当金	△ 58	△ 60	為替換算調整勘定	152	65
資産合計	24,893	27,304	純資産合計	12,416	12,536
			負債純資産合計	24,893	27,304

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,169百万円増加し、14,115百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加1,237百万円、現金及び預金の増加368百万円、商品及び製品の増加226百万円です。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ241百万円増加し、13,189百万円となりました。これは、株式会社井口産交子会社化に伴う有形固定資産の増加に加え、無形固定資産において、ソフトウェアが増加したためです。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,271百万円増加し、12,747百万円となりました。主な増減要因は、短期借入金の増加1,448百万円、支払手形及び買掛金の増加1,314百万円、その他に含まれる未払消費税等の減少256百万円、未払法人税等の減少256百万円です。

■第3四半期 連結損益計算書

科目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
	2018年4月1日～ 2018年12月31日	2019年4月1日～ 2019年12月31日
売上高	33,704	※5 34,017
売上原価	24,771	25,063
売上総利益	8,932	8,954
販売費及び一般管理費	8,163	8,516
営業利益	768	※6 438
営業外収益	209	156
営業外費用	36	81
経常利益	942	513
特別利益	—	81
特別損失	10	3
税金等調整前四半期純利益	931	591
法人税等	297	227
四半期純利益	634	364
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	364

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、2,020百万円となりました。主な増減要因は、株式会社井口産交子会社化に伴う長期未払金の増加54百万円、リース債務の増加28百万円、長期借入金の減少53百万円です。なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ1,394百万円増加し、8,151百万円となっております。

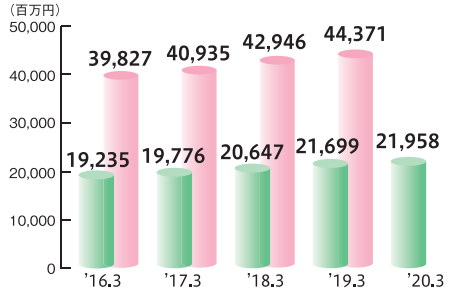
※5 業務用食品等の販売において、つくば工場の生産品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みに加え、北海道、沖縄、甲信越、北陸、千葉など新規エリアにおける拡販体制をさらに強化してまいりました。また、海外販売にも注力し、既存エリアである米国や豪州に加え、シンガポールやEU諸国など新規エリアの売上も伸張いたしました。これらの結果、当社主力製品である玉子焼類や味付かんぴょう・しいたけ類などの売上が拡大しました。ヘルスフード事業では、テレビCMや紙媒体、電子媒体などで焙煎ごぼう茶の販売促進・広告活動を積極的にまいりました。しかしながら、前連結会計年度に大きく伸張した新製品の販売実績が一服したこともあり、通信販売の売上は前年同四半期を下回る結果となりました。ドラッグストアなどでの市販品の売上は新規開拓やインスタプロモーションの強化を行ったものの前年同四半期を若干下回る結果となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は34,017百万円(前年同四半期比0.9%増加)となりました。

※6 利益面につきましては、連結子会社取得に伴う固定費の大幅な増加に加え、人件費、販売物流費などの諸経費が上昇する中、焙煎ごぼう茶の積極的な広告宣伝、営業拠点の整備など、次期成長拡大に繋がる戦略的経費の計上を行ったことなどにより、営業利益は438百万円(前年同四半期比43.0%減少)となりました。

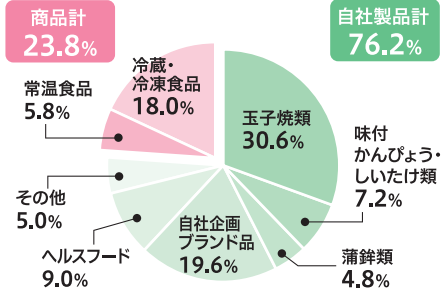
注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績の推移

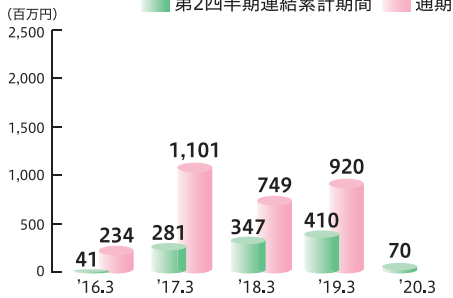
売上高



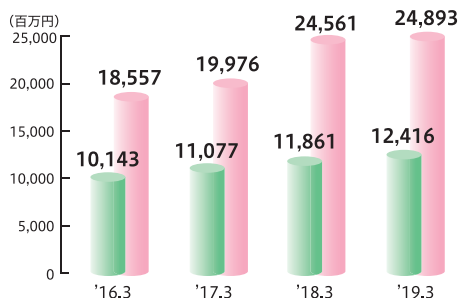
売上構成比 ('20年3月期 第2四半期連結累計期間)



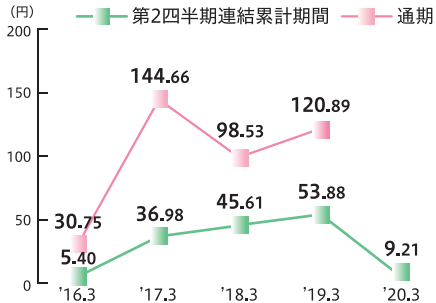
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



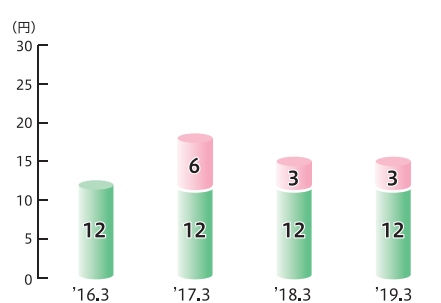
純資産・総資産



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金

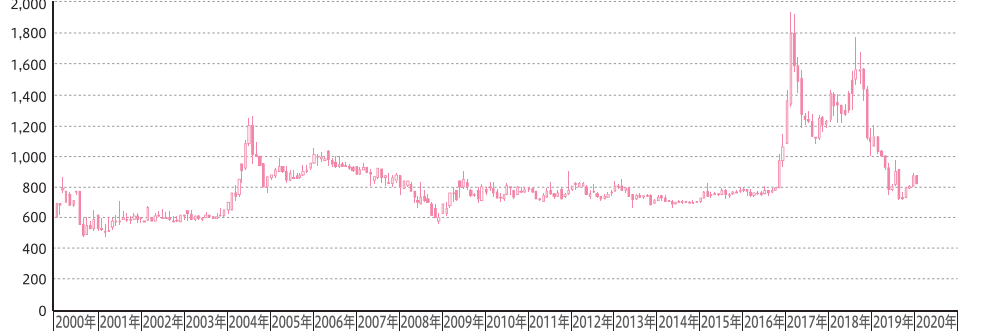


注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移 ※東証2部市場

証券コード：2907

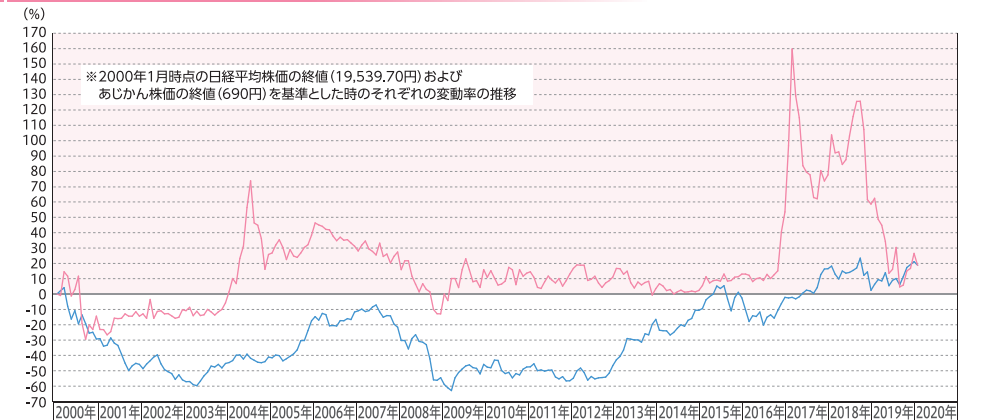
(円) [株価推移]



(千株) [出来高推移]



日経平均株価とあじかん株価の推移の比較



IR Information

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日(当期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告
(公告掲載URL) <https://www.ahjikan.co.jp/>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

会社概要

商号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
 設立年月日 1965年3月19日(創業1962年)
 主要な事業内容 鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の
 製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売



- 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●